

第3学年 社会科学学習指導案

社会科研究室

1. 小単元名

第3学年『農家で作られるもの ～元岡で作られているバラのひみつ～』

2. 小単元の考え方

1) 児童観

○関心・意欲・態度

本学級の児童は、これまでに自分達の住んでいる校区の様子や福岡市の様子などについて学習してきた。そこで、学習問題に対して生活経験や既習を元に予想し、それぞれの視点をもって、意欲的に調べる活動を行ってきた。

○資料活用・表現・コミュニケーション能力

1学期最後のアンケートによると、29名中21名の児童が社会科を好きだと答えている。しかし、困っていることとして、『調べ方がわからない』ことや『資料の見方がわからない』こと、『自分の考えを発表することができない』ことなどを挙げている児童が多い。また、児童はこれまでの追究活動において、体験活動や見学、人物への聞き取りなどを通して調べたことを発表することはできるようになってきた。しかし、学習問題に対する自分の考えをまとめて発表するという学習はあまりできていない。また、交流場面では一方的に発表することが多く、相手にわかりやすく説明しようという相手意識が十分でない。

○知識・理解、社会的な見方・考え方

前小単元『わたしたちのくらしと商店』では、地域にある商店やスーパーマーケットについて調べ、それらの仕事に携わっている人々が工夫していることを学習し、それに関連づけて消費者側の工夫にも気付くことができた。今回の『農家で作られるもの』では、農家の仕事は地形や気候などの自然条件とかかわっており、施設・設備、働く人の仕事の進め方などに見られる仕事の工夫について理解させ、生産物の運びやすさについて考えさせたい。また、苗を海外から取り寄せていることから外国とのつながりに気付かせたり、県外への出荷を行っていることから国内の他地域とのつながりに目を向けさせたい。そして、それらの仕事自分たちの生活を支えていることに気付かせたい。

2) 教材観

○バラを教材化した価値について

- 福岡県のバラの出荷量は全国で第3位であり、そのほとんどが元岡や北崎で生産されている。福岡市の出荷量は1777ある市町村の中で全国第5位である。
- バラは一年中生産されており、年間を通した生産の工夫が見えやすい。
- 生産者側は、消費者のニーズに合わせて種類や生産量を考えて生産しており、生産者と消費者の関係が見えやすい。
- いちごは、4年生の福岡県の農業のところで再び取り上げられている。
- 農作物の中でも穀類・野菜・果物は、食べ物なので児童は興味・関心が高い。しかし、敢えて身近ではない生花(バラ)を取り上げ、私たちの生活を豊かにしているバラにも人々が様々な工夫をしながら生産していることに気付かせたい。

○単元構成図

○○の□□さんは、温暖な気候と霜が降りないという自然条件を生かしながら、バラ作りを行っており、天気や気温などの天候を見ながら、バラがよく生長するように機械をうまく利用し、水や栄養を与えて、害虫や病気を防ぐ工夫や努力をしている。出荷の際にはバケツに水を入れたり、専用の冷蔵庫を使ったりしてバラをいためないような工夫をして、より多くの人に美しいバラを届けたいという願いをもって農業に取り組んでいる。

また、バラは県内や県外へ出荷され、他地域ともつながっている。

自然条件・土地の様子

○福岡県では、バラの作付面積・出荷量・算出額ともに全国第3位であり、福岡市の元岡・北崎地区でその約30%を占めている。

○元岡・北崎地区は、平地が広がっており、農家が多い。近年は九州大学が移転してきて住宅地が増え、道路も整備されてきている。

バラ作りと

それに従事する□□さんの工夫や努力

○元岡・北崎地区では、海沿いで霜が降りにくく、温暖な気候を生かしながら、人々のニーズに合わせたバラ作りを行っている。

○バラ作りに従事している□□さんは、毎日バラを収穫し、天気や気温などの天候を見ながら、バラがよく生長するように水や栄養を与えたり、害虫や病気を防いだりする工夫や努力をしている。

○出荷の時はバケツに水を入れたり、専用の冷蔵庫を使ったりしてバラをいためないような工夫をし、より多くの人に美しいバラを届けたいという願いをもってバラ作りに取り組んでいる。

バラの運びやすさ・

他地域とのかかわり

○バラの苗や肥料は、他地域(県外や外国)から届けられている。

○栽培したバラは、トラックで福岡市の花市場へ集められ、福岡県内や関西へ出荷されている。関西などの他地域へ出荷する際には高速道路を通して運ばれる。

○元岡・北崎地区の位置と様子

・福岡市の中心部から約15km。
・西部には平地が多く、野菜・果樹・生花の栽培が盛ん。

○自然条件

・気候…地形や対馬海流が影響し、年平均17℃と温暖で、霜も降りにくい。

○設備や道具

・ビニルハウス…気温を保ち、雨や風からバラを守る。
・ビニルのネット…夏は日よけ。冬は暖房を逃がさない。
・エアコン…温度調節
・パイプ…水と栄養をいきわたらせる。
・ファン…冬に温かい空気をビニルハウス全体にいきわたらせる。
・虫をつかまえる機械
・肥料をまぜる機械
・冷蔵庫…収穫したバラの新鮮さを保ち生長を抑える。

○□□さんの工夫や努力

・客のニーズに合わせた品種や色
・毎日、バラの様子、天気や天候を見ながらバラがよく生長するように機械をうまく利用して水や栄養を与えたり、害虫や病気を防いだりする工夫や努力をしている。

○立地条件

・○○から、出荷先である福岡市東区の花市場は、福岡県内の北九州市や久留米市の花市場より近い。

○出荷先

・福岡市東区の花市場
・関西(兵庫県姫路市・大阪府大阪市・大阪府泉大津市)の3つの花市場

○出荷先までの交通網

・福岡市の花市場までは近くの国道を通っている。
・関西の花市場まではトラックで高速道路を通して運んでいる。

○指導構想

研究内容①地図を生かした学習問題の設定



○ 新学習指導要領の目標「(3) 地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」に関わって，地図を活用した学習を組み立てる。

地図には，位置や距離，分布や広がり，方位，地形，交通との結びつきなどの特性がある。本小単元では，これらの特性を生かして学習を行っていく。特に，学習問題の設定では，まず，バラの全国における市町村別の出荷量の第10位までがわかるグラフ(資料)を提示する。そのグラフから福岡市が全国で第5位であり，年間763万本も出荷していることに気付かせる。

次に，1時間目に提示した**福岡市内の農産物の分布地図**を再び提示し，バラが福岡市の西区と東区で生産されており，特に西区の△△と〇〇で集中してつくられていることを知る。そして，学習問題「なぜ，〇〇や△△でたくさんのバラがで作られているのだろうか。」を設定する。

研究内容②各段階における地図の位置付け

本小単元では，考えを深めるために，地図を活用した交流活動を下図のように位置付ける。

学習段階	地図の活用	地図を活用した活動	地図
つかむ	読図の活動①	【全体交流】 ○農作物の分布地図から西区に農家が集中している事実を読み取らせるために，農作物に色を塗って位置や分布，広がりを認識させる。	
		【地図を触りながら班で交流】 【全体交流】 ○立体模型地図を触りながら班の児童と交流し，学習問題の答えを予想して追究の視点をつくる。	
さぐる	読図の活動②	○追究の視点に沿って，教師の作成資料(農産物の分布地図・交通網の地図)や掲示してある立体模型地図から読み取りを行い，学習問題について考え，事実認識を行う。	  
まとめる	吟味する活動 再構成する活動①	【全体交流】 ○それぞれの追究の視点について，全体で事実を整理する。 【全体交流】 ○前時で課題となった“市場まで近いかわるか”について 福岡市の地図 を見て生活経験等をもとに自分の考えをもち，交流する。さらに，提示された福岡県の地図を見て，福岡県内の3つの市場の位置を知り，〇〇からは福岡市の市場が近いという見方を地図上で理解する。そうすることで地理的な見方や考え方が深まると考える。	    

福岡市の地図

福岡県内の市場の位置を示した地図

研究内容③地図の内容と提示の工夫

①つかむ段階

何のために	何を（内容）	どのように（方法）
○福岡市で農産物を生産している地域をとらえ、なぜ元岡や北崎でたくさんのバラが作られているのかという学習問題を立てるために、	○福岡市内の農産物分布地図を	○学習問題を設定する前の時間（第1次）に全体へ提示し、第2次で想起させる。
○元岡や北崎でバラづくりが行われている理由を、立地条件や自然条件から考えさせるために、	○福岡市の立体模型地図を	○学習問題の予想（第2次）と追究の視点（第3次）を考えさせる際に、全体に提示する。

②さぐる段階

何のために	何を（内容）	どのように（方法）
○元岡・北崎でバラづくりが行われている理由を、立地条件や自然条件から考えさせるために、	○福岡市の立体模型地図を	○教室に掲示しておき、調べえる活動の際、いつでも触れるようにしておく。（立体模型地図）
○元岡・北崎から福岡市東区の花市場までの距離をとらえられるように、	○福岡市の交通網の地図を	○教師作成の資料に載せておき、児童が必要な際に読み取る。（福岡市の交通網地図） ○全体で視点ごとに事実を整理する際に、児童がその地図を使って説明できるようにする。

③まとめる段階

何のために	何を（内容）	どのように（方法）
○北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると、元岡や北崎から福岡市東区の花市場までが近いという見方に気付かせ、市場までが近いこともバラ作りが行われている理由の一つだということを気づかせるために、	○福岡市の交通網の地図を ○福岡県全体の地図（県内の3つの花市場を示した）地図を	○まず、福岡市の交通網の地図を提示し、元岡・北崎から東区の花市場までが近いか遠いかについて交流する。 ○次に、福岡県全体の地図を提示し、北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると、東区の花市場は近いという見方に気付かせる。

3. 小単元の目標

- 福岡市のバラの生産活動の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して意欲的に調べることができる。（関心・意欲・態度）
- 地域の生産活動に携わる人々は、他地域などのかかわりをもちながら、様々な工夫をしていることを具体的に考えることができる。（思考・判断）
- 地域の生産活動に携わる人々の様子を、見学することを通して具体的に観察・調査し、調べた過程や結果を表現することができる。（技能・表現）
- 地域の生産活動では、地形や気候など自然条件とのかかわり、施設・設備、働く人の仕事の進め方、生産物の販売などに見られる仕事の工夫があり、苗の購入や出荷先など他地域とのかかわりをもっていることがわかる。（知識・理解）

板書（第3次）



- 1 3. 予想を交流し、調べる計画を立てる。
- (1) 予想したことを交流する。
- ・土に栄養があるからじゃないかな。
 - ・よい水があるからじゃないかな。
 - ・気温が関係しているんじゃないかな。
 - ・つくる人がたくさんいるんじゃないかな。
 - ・機械でやってると思うから、人は少ないよ。
 - ・よいこの社会科7月号で、交通網の学習をしたよ。西区には、高速道路が通っていたから運びやすいんだと思うよ。
 - ・市場がどこかわからないけど、きっと市場に近いと思うよ。
- (2) 調べること（追究の視点）と調べる方法をはっきりさせる。

○追究の視点は、特に絞らせない。

【調べること】

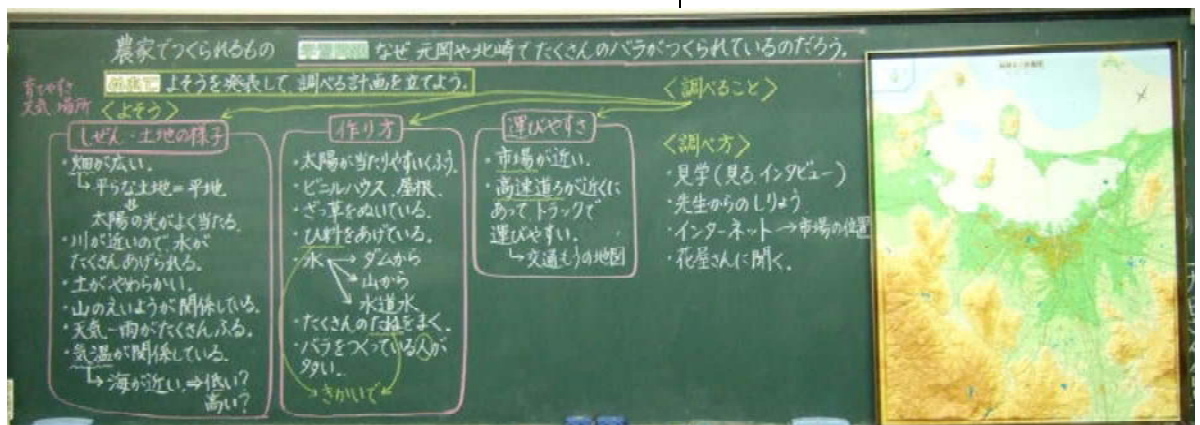
しぜん・土地の様子	作り方	運びやすさ
-----------	-----	-------

【調べる方法】

- ・社会科見学で、見たり聞いたりする。
- ・教師作成資料で調べる。
- ・花屋で聞く。
- ・インターネットで調べる。

○元岡の□□さんを紹介する。

板書（第4次）



さ
ぐ
る

4 4. 追究の視点に沿って調べ、事実を整理する図にまとめる。

- (1) (1) □□さんのバラ農家へ見学に行く。
- (2) (2) わからないことを教師作成資料やインターネットで調べる。
- (1) (3) 学習問題の答えを自分なりにまとめる。

○教師作成資料を配布する。



○福岡市の交通網地図

3 (4) まとめたことを全体交流し、事実を整理する。

- (1) ○土地の様子
 - 1) 調べた事実を発表する。
 - 2) 発表したことをその場で吟味しながら整理していく。



○西区○○の航空写真



○西区○○の様子がわかる写真




○対馬海流の流れがわかる地図

板書 (第9次)


農家どつくれるもの なぜ、元岡や北崎でたくさんのバラが作られているのだろう。

の図で しぜんや土地のようすについて調べたことを交流しよう。 <しぜん・土地のようす>


[REDACTED] のようす



こう空写真



・田や畑
・ビニルハウス



・平地が広い→日当たりがよい。 → 植物が育ちやすい

・海に近い土地→あたたかい気こう → 植物が育ちやすい

(あたたかい対馬海流が流れている。) ↓

しもがおりにくい。

理由

・平地が広がっているため、日当たりがよい。また、あたたかい気こうなので、しもがおりにくく、植物が育ちやすい。だから、元岡どつくれるバラが作られている。

ま

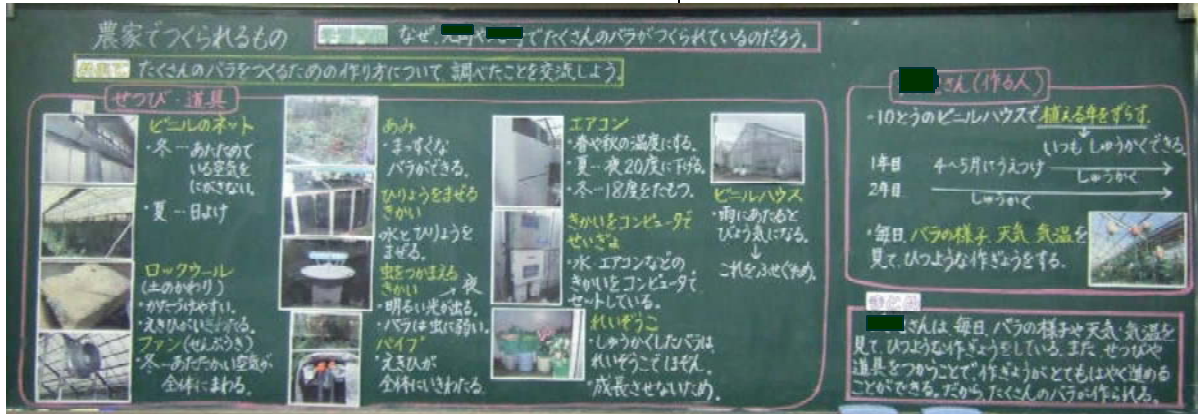
と

め

る

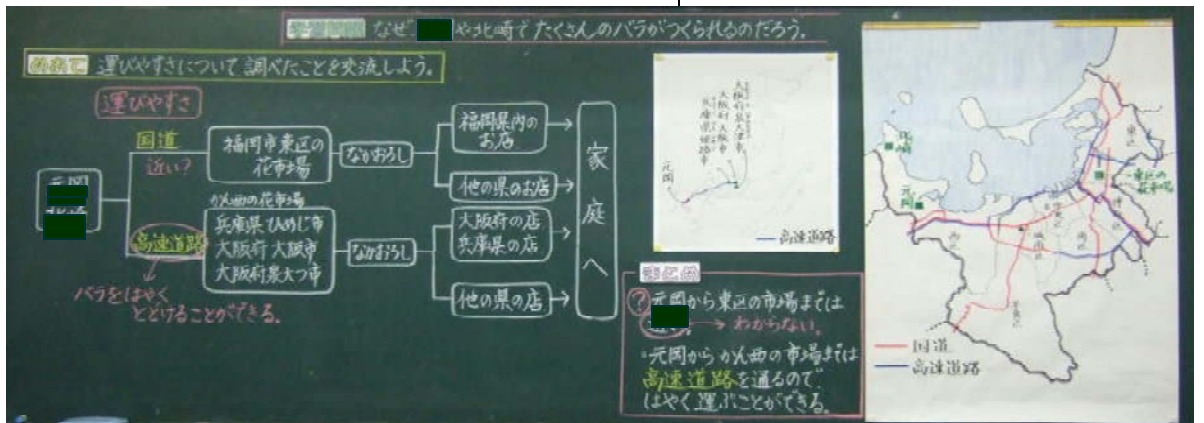
- (1) ○作り方
 - 1) 調べた事実を発表する。
 - 2) 発表したことをその場で吟味しながら整理していく。

板書（第10次）



- (1) ○運びやすさ
- 1) 調べた事実を発表する。
 - 2) 発表したことをその場で吟味しながら整理していく。
 - 3) 元岡や北崎から福岡市東区の花市場までが近いか遠いかについて、考えを書く。

板書（第11次）

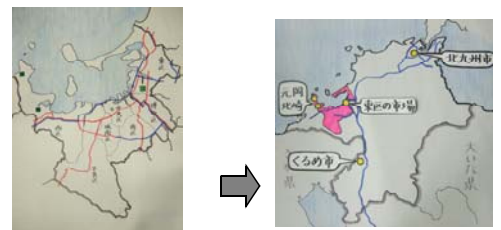


1
本
時

3. 学習問題の答えについて話し合い、まとめる。
- 1) 2つの視点（自然・土地の様子，作り方）についてまとめたことを振り返る。
 - 2) 福岡市の地図を元に，前時の疑問「元岡や北崎から東区の花市場までは近いのか。」について，話し合う。
 - 3) 福岡県全体の地図を見て，もう一度考え，考えを書き，話し合う。
 - 4) クラス全体で学習問題の答えをまとめる。

元岡や北崎は平地が広く，気温もあたたかく，しかも降りないので，バラを育てやすい。また，□□さんは天気や気温を見ながら，うまく機械を使ってバラの生産に取り組んでいる。さらに，福岡市の市場までも近いので，元岡や北崎でバラづくりが行われている。

(5) 「今日の学習で」を発表する。



○福岡市の交通網地図 ○福岡県の花市場の位置を表す地図

- 福岡県全体の地図を提示し，北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると，東区の花市場は近いという見方に気付かせる。
- まとめの最後に，□□さんが愛情を込めて一生懸命作っていること（気持ち）も重要であることに気づかせる。
- 本時での考えの変容や学習問題の答えについて書くよう促す。

6. 本時の目標

- 元岡や北崎でたくさんのバラがつくられている理由について、考えたことを文章で書き表し、発表することができる。(技能・表現)
- 元岡や北崎でたくさんのバラがつくられている理由をまとめることができる。(思考・判断)

7. 本時指導の考え方

「元岡から東区の市場までが遠い」と言っていた児童に、縮尺を変えた地図を使って福岡県内の他の市場の位置を示せば、「元岡から東区の市場までが近い」という見方へ変容し、「運びやすさ」の視点を学習問題の答えの一つと考えることができるだろう。

○前時までに…

児童は前時までに、追究の視点に沿って調べ活動を行い、「自然や土地の様子(平地の広がり・温暖な気候・霜が降りないこと)」「作り方(〇〇さんが毎日バラの様子や天気・気温を見ながら、機械をうまく利用してバラを育てていること)」「運びやすさ(交通の便がよい・関西の市場までは高速道路を使って運んでいること)」について、全体で交流している。しかし、前時の「運びやすさ」について話し合う際、「西区元岡から東区の花市場へ近い」という〇〇さんの言葉に対して、「遠い」と思っている児童が30人中22人もいた。そこで、「運びやすさ」についてのまとめは行わず、自分の考えをプリントに書き、本時で話し合うことにした。

○本時は…

本時はまず、今までの学習の振り返りをして、「西区元岡から東区の花市場へ近いかどうか」について話し合う活動を仕組む。多くの児童は、元岡へ見学に行った時の経験をもとに、時間や距離で「近い」か「遅い」かを判断している。また、国道と高速道路を比較して、判断している児童もいる。話し合いの後、教師から福岡県の地図を提示する。ここでは、福岡県で考えると福岡市がどの位置に当たるのかを抑え、元岡→北九州市の花市場→久留米市の花市場→東区の花市場の順に位置を抑えることで、「北九州市や久留米市の花市場に比べると、東区の花市場は元岡から近い」ことに気付かせたい。さらに、地図の見え方を変えることで、ものの見方や考え方も変わることがあるということを知らせたい。

「元岡から東区の花市場へ近い」ことを確認した後、学習問題の答えについて個人でまとめ、全体でまとめる。元岡や北崎でバラ作りが行われている理由が、自然条件・作り方・運びやすさにあるということでもとめたい。

○何のために、何を(内容)、どのように(方法)指導するのか。

何のために	何を(内容)	どのように(方法)
○北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると、元岡や北崎から福岡市東区の花市場までが近いという見方に気付かせ、市場までが近いこともバラ作りが行われている理由の一つだということを知らせるために、	○福岡市の交通網の地図を ○福岡県全体の地図(県内の3つの花市場を示した)地図を	○まず、福岡市の交通網の地図を提示し、元岡や北崎から東区の花市場までが近いか遠いかについて交流する。 ○次に、福岡県全体の地図を提示し、北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると、東区の花市場は近いという見方に気付かせる。





○福岡市の交通網の地図



○福岡県内の市場の位置を示した地図

8. 本時の展開

段階	配時	学習活動と内容	支援
	5分	<p>1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、元岡や北崎でたくさんのバラが つくられているのだろう。</p> </div> <p>1) 2つの視点（自然・土地の様子，作り方） についてまとめたことを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 元岡や北崎から東区の花市場までが近いか どうかについて話し合い，学習問題の答えを まとめよう。</p> </div>	
10分	12分	<p>2. 前時の疑問「元岡や北崎から東区の花市場までは近いのか。」について話し合う。</p> <p>1) 福岡市の地図を元にして，自分の考えを話し合う。</p> <p>2) 福岡県全体の地図を見て，もう一度考え， 文章に表し，発表する。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○ 10分間の話し合いの後，福岡県全体の地図を提示する</p> <p>○ 中心発問</p>
8分		<p>3. 学習問題の答えについてまとめる。</p> <p>1) 学習問題の答えを文章に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然や土地の様子 ○ 作り方 ○ 運びやすさ <p>2) 自分の考えを発表し，全体でまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○○や△△は平地が広く，気温もあたたかく，しも降りないので，バラを育てやすい。また，□□さんは天気や気温を見ながら，うまく機械を使ってバラをたくさん作っている。さらに，福岡市の市場までも近いので，○○や△△でバラづくりが行われている。</p> </div>	<p>「福岡県の地図を見て，元岡や北崎から東区の花市場は近いですか。」</p> <p>○ 北九州市や久留米市の花市場の位置と比べると，東区の花市場は近いという見方に気付かせる。</p> <p>○ まとめ最後に，□□さんが愛情を込めて一生懸命作っていること（気持ち）も重要であることに気づかせる。</p>
10分		<p>4) 「今日の学習で」について発表する。</p>	<p>○ 本時での考えの変容や学習問題の答えについて書くよう促す。</p> <p>○ 友達の考えのよさに気付かせるために「今日の学習で」を数名に発表させ，何がよいのかを具体的に説明して賞賛する。</p>